

邑南町舗装長寿命化修繕計画 (個別施設計画)



平成30年3月

邑南町

1. 舗装の現状と課題
 1. 1 管理道路の現状
 1. 2 長寿命化の対象路線
 1. 2 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方
 2. 1 舗装管理の基本方針
 2. 2 管理道路の分類（グループ分け）
 2. 3 管理基準
 2. 4 点検方法・点検頻度
 2. 5 点検路線
 2. 6 診断

3. 計画期間
 3. 1 計画期間

4. 対策の優先順位
 4. 1 修繕計画の方針
 4. 2 長寿命化修繕の対象路線

5. 舗装の状態、対策内容、実施期間（予定）
 5. 1 診断結果
 5. 2 対策内容と実施時期（予定）

6. 計画策定部署

7. 履歴

1. 舗装の現状と課題

1. 1 管理道路の現状

○管理延長と舗装延長

邑南町が管理する道路は総延長約613kmあり、その8割以上が舗装された道路となっています。

町内の道路は町の発展とともに交通状況の変化や経年劣化などにより、舗装の早急に修繕が必要な箇所が年々増え続けています。しかしながら、舗装の老朽化の進行に対し、修繕などの維持管理が追いつかない状況となっています。

平成30年3月現在

道路区分	管理延長(実延長) (km)	舗装延長		舗装率 (%)
		アスファルト舗装 (km)	コンクリート舗装 (km)	
1級町道	64.7km	60.0km	1.2km	94.6%
2級町道	79.1km	74.4km	0.3km	94.4%
その他町道	469.3km	384.4km	6.1km	83.2%
計	613.1km	518.8km	7.6km	85.9%

1. 2 舗装の現状

舗装の現状把握は、「道路総点検実施要領(案)平成25年2月国土交通省道路局に準拠して平成25年に路面性状調査を行いました。

邑南町が管理する町道のうち、町道1級・2級をはじめとする幹線道路や通学路、交通量の多い生活道路の約143kmを調査しました。

この調査により、ひび割れ率40%以上の路線は、20路線約10km、わだち掘れ40mm以上の延長はないという状況がわかりました。邑南町の舗装の劣化は、ひび割れを主体として進行していると判明しました。

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2. 1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指します。

点検→診断→措置→記録→（次回点検）のメンテナンスサイクルを構築していきます。

2. 2 管理道路の分類（グループ分け）

道路の役割や性格、修繕実施の効率性、ストック量、管理体制等の観点から道路の分類を下記のとおり区分します。

分 類	対象道路
分類C	市町村道（1級・2級）
分類D	市町村道（その他）

※分類は国土交通省舗装点検要領（平成28年10月）に準拠

今後、交通量の変化等による舗装の損傷の進行速度の変化等に応じて、道路の分類は、適宜見直し、舗装の修繕が効率的になるよう実施します。

2. 3 管理基準

管理基準は、下記のとおりとします。

ひびわれ率	MCI
40%以上	3.0以下

※MCI（維持管理係数4.0以下は修繕が必要。）

2. 4 点検方法・点検頻度

原則、下記のとおり点検を実施します。

分 類	点検方法	点検頻度
分類Cの道路 分類Dの道路 （重点点検路線）	近接目視および 路面性状調査	5年に1回程度 点検計画に基づく
分類Cの道路 分類Dの道路 （その他路線）	パトロールによる近接目視（適宜）	

2. 5 点検路線

舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等の地域特性を考慮し、下記のとおり路線を重点点検路線とします。重点路線以外の路線については、2. 4 点検方法・頻度の表に基づき点検します。また、地域特性の変化に応じ適宜見直しをします。

重点点検路線（1）

No.	路線名	道路種別
1	日南川上田線	1 級
2	戸河内線	1 級
3	高見宇都井線	1 級
4	西ノ原山根線	1 級
5	根布戸河内線	1 級
6	道明線	1 級
7	亀谷線	1 級
8	鱒淵馬野原線	1 級
9	普明司茅場線	1 級
1 0	西本町高水線	1 級
1 1	川下線	1 級

重点点検路線（2）

No.	路線名	道路種別
1 2	阿須那大林線	2 級
1 3	雪田岩屋線	2 級
1 4	今井後谷線	2 級
1 5	大町原猪子山線	2 級
1 6	大草線	2 級
1 7	瑞穂中学校線	2 級
1 8	淀原馬場線	2 級
1 9	志都岩屋大林線	2 級
2 0	後木屋線	2 級
2 1	大林線	2 級
2 2	円ノ板 1 号線	2 級
2 3	上原線	2 級
2 4	小河内出羽線	2 級
2 5	森実上別所線	2 級
2 6	三葉横引線	2 級
2 7	鹿子原郡山線	2 級
2 8	中日和下郷線	2 級
2 9	山根谷線	2 級

重点点検路線（3）

No.	路線名	道路種別
3 0	田所出羽線	その他
3 1	伏谷線	その他
3 2	大町原猪子山支線	その他
3 3	市木町線	その他
3 4	永明寺線	その他
3 5	朝原配水池線	その他
3 6	三日市臼井谷線	その他
3 7	要九郎線	その他
3 8	淀原後谷線	その他
3 9	上和田狼原線	その他
4 0	高原診療所線	その他
4 1	高山線	その他
4 2	中組工場線	その他
4 3	石見南線	その他
4 4	石見北線	その他
4 5	石見中央線	その他
4 6	柚ノ木谷立善寺線	その他
4 7	下京後原線	その他
4 8	柚ノ木谷力沢谷線	その他
4 9	桜井鳴滝線	その他
5 0	泊里東屋線	その他
5 1	泊里大鹿山線	その他
5 2	中日和山ノ内線	その他

2. 6 健全性の診断

舗装の健全性の診断は、下記の表の判定区分により行います。

区 分		状 態
I	健全	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である。
II	表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。
III	修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし、それ超過している又は早期の超過が予見される状態である。

3. 計画期間

3. 1 計画期間

個別施設計画の計画期間は、使用目標年数を考慮し10年間とします。

4. 対策の優先順位

4. 1 修繕計画の方針

舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定します。当該路線の補修対策の優先順位は、路面性状調査結果により、ひびわれ率・MCIの状況や、その他要因（地域特性）を考慮し、総合的に決定します。

□舗装修繕路線（箇所）の選定
ひび割れ率40%以上かつMCI3.0以下の路線



□舗装の劣化による評価（舗装補修の必要性）
舗装劣化の著しい路線（箇所）は、緊急性が高いものと判断し、優先的に舗装修繕区間と評価する。



□地域特性による評価
路線の重要性を位置づける視点は以下のとおり。
◎路線特性：交通量・アクセス道路・バス路線
◎機能性、安全性：公共施設・学校施設
◎防災性：緊急輸送道路・避難施設

4. 2 舗装長寿命化修繕計画路線

邑南町は、舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等地域特性を考慮するとともに、修繕計画の方針に基づき、下記のとおり長寿命化修繕路線として選定し補修等を実施していきます。また、計画路線外の町道において、点検により町道の損傷状況が判明した場合には適宜、調査をおこなうとともに重点点検路線・修繕計画路線の見直しします。

長寿命化修繕指定路線

No.	路線名	道路種別
1	日南川上田線	1級
2	戸河内線	1級
3	高見宇都井線	1級
6	道明線	1級
7	亀谷線	1級
8	鱒淵馬野原線	1級
19	志都岩屋大林線	2級
24	小河内出羽線	2級
27	鹿子原郡山線	2級
28	中日和下郷線	2級
31	伏谷線	その他
32	大町原猪子山支線	その他
38	淀原後谷線	その他
43	石見南線	その他

5. 舗装の状態、対策内容、実施期間（予定）

5. 1 診断結果

別表のとおり

5. 2 対策内容と実施時期（予定）

別表のとおり

修繕路線の補修工法の対策内容は、経済比較や周辺環境を考慮し、必要な測量調査・路盤厚調査等を行い、調査結果を踏まえて総合的に判断し補修工法を決定します。

なお、主な補修工法として①オーバーレイ工法②全面打換え工法③路床路盤再生工法があります。

6. 計画策定部署

邑南町役場建設課 TEL 0855-95-1120

FAX 0855-95-0171

7. 履歴

平成30年3月策定

